

さまざまな困りごとを、
対話を通じて解決する。



「とても働きやすい職場です」と話す、石黒大幹さん(左)と小松聖さん。



株式会社プレステージ・
インターナショナル
山形BPOガーデン

住／山形県酒田市京田4-1-1
電／0234-41-2111
HP／<http://www.prestigein.com>

さまざまな職種に挑戦できる環境です。コンタクトセンターが24時間体制であることを活かしたユニークな勤務体系も、多様な人材の活躍を後押ししている。「ライフスタイルに合わせて、勤務曜日・時間帯をある程度自由に選択することがあります。これが入社を決め手になっている社員も少なくないと思います」。

昨年10月に開設した県内もう1カ所の拠点「鶴岡ブランチ」と合わせて、社員は500名ほど。新オフィスの建設も進めており、



平均年齢30代前半と、若い人が多く活躍している。



「未経験の方がほとんどですので、一緒に成長していけるよう業務研修にも力を入れています」と話す、上席執行役員山形BPOガーデン長の太田嶋匡哉さん。

※BPO(Business Process Outsourcing)事業・さまざまな会社の業務を代行する事業。
高Cradle編集部員)
(取材：酒田東高文芸部、酒田西

「未経験の方がほとんどですので、一緒に成長していけるよう業務研修にも力を入れています」と話す、上席執行役員山形BPOガーデン長の太田嶋匡哉さん。



Cradle高校生編集部が行く
スゴハイ18 特別編
SUGOI high school students in Shonai
Supported by
庄内広域行政組合、山形県庄内総合支庁

SUGOI REPORT
スゴ★レポ

高校生編集部が
地元企業の魅力発見！



さまざまな人が活躍できるよう、
社員教育に力を入れる企業が、ここ庄内にも増えてきています。
地元暮らしを楽しみながら、自らの成長を喜び
大きなやりがいとともに働く大人たちを紹介します。

曲線的で真っ白な外壁に、一面ガラス張りのエントランス。酒田の京田西工業団地に、ひととき目を引く建物がある。東京に本社を構え、世界16カ国19拠点でBPO事業※を展開する株式会社プレステージ・インターナショナルの拠点、山形BPOガーデンだ。核となるコンタクトセンター事業では、多種多様な企業のお客さま問い合わせ窓口として、世界中にあるグループ会社や提携先とのネットワーク、独自のITシステムを活かした、業界トップクラスの迅速かつ的確な対応力を見せる。

「コンタクトセンターでの仕事は、お電話での対話を通じ、お客さま

のお困りごとを解決することなんです」と話すのは、入社4年目の小松聖さん。家族の近くで暮らしたいと思い地元就職を決め、高校卒業後に入社。以来、賃貸物件の借主からの問い合わせ対応業務を担当してきた。「鍵の紛失や水漏れなどのご連絡を受け、お客さまの近隣にあるグループ会社など提



白を基調とした明るい配色で、開放感のある空間が広がる。



携先のスタッフを手配し、トラブル解決をサポートするのが仕事です。お客さまの顔が見えない難しさはありますが、落ち着きを取り戻した声で『ありがとう』と言っていただけのこと、大きなやりがいですね」。

「誰もが平等にキャリアアップを目指すことができるのが、当社の最大の魅力だと思います」。入社5年目、採用担当の石黒大幹さんは言う。「入社後3年間は問い合わせ対応業務を担当し、4年目からは採用を担当しています。年齢や性別、学歴などに関係なく、さ

もしかすると製造業の世界には、私たちが目にするのではない製品をつくる会社の方が多いのかもしれない。1988年創業、鶴岡市鶴引地区の株式会社トガシ技研もその1つだ。大手自動車メーカー向けのものを中心に、さまざまな製造現場で使われる生産設備をつくる「製造業のための製造業」を営む会社だ。製品はすべて、お客



加工ロボットや3Dモデリングソフトなどの最新技術と、溶接など熟練の職人技とが両輪となり、高性能な生産設備が生み出される。今春稼働予定の新工場では、目標として掲げてきた「自社製ロボットの生産」を開始する。



「首都圏にも負けない、多くの若者に選ばれる会社を目指しています」と今後の展望を語る、代表取締役社長の長谷川靖和さん。

さまの要望に応じてゼロからつくり上げる完全受注生産。「毎回違うものがつくれるのは、やっぱりおもしろいですね」と話すのは、第一工程である「設計」を担当する渡部沙希さん。お客さまからの仕様書を読み解き、コンピュータ上で3Dモデルとして形にし、設計図に落とし込むのが仕事だ。その後、設計図に基づいて機械や手作業により部品をつくる「加工」、加工された部品を、ロボットなどを組み込みながら動作する状態に仕上げる「組み付け」を経て、生産設備ができあがる。「難しい加工が、イメージ通りにいったときは嬉しいですね」「私は、組み上がった製品が無事に動いたときが一番です」と仕事の中の喜びについて話すのは、加工担当の小池智也さんと、組み付け担当の佐藤誉大さん。



いきいきと働き、若くしてものづくりの現場で活躍する3名だが、工業系の学校の出身ではないそうだ。「あまりコミュニケーションが得意な方ではないんですが、先輩方が親身になって教えてくれるので質問がやすく、着実に上達できている実感があります」と佐藤さん。専門的な勉強の経験がなくとも早くからやりがいを見出すことができているのは、指導体制



がしっかりとしている何よりの証拠だ。3名にはもう1つ共通点がある。就職先を決める理由にもなった「地元愛」の強さだ。「庄内の人づきあいには、ほっとする温かさがありますよね」と渡部さん。学生時代に県外で過ごしてみると、その良さに気がついたという。小



(左から)入社5年目の渡部沙希さん、2年目の小池智也さん、1年目の佐藤誉大さん。地元鶴岡で働き暮らす日々は、とても充実しているという。

「つくる」を支える
縁の下の力持ち。



組み上がった後、動作を確認しながら細部の調整が行われる。

池さんは、鶴引地区で定期的に開催されている「こしやってマルシェ」への参加が、地元就職を選ぶきっかけになった。「県外に進学するつもりだったんですが、地元で楽しく生きる大人たちに出会い、自分もそんな風に暮らしていきたいと思ったんです」と笑う。



株式会社
トガシ技研

住/鶴岡市丸岡字町の内309-1
電/0235-57-4888
HP/http://www.togashig.co.jp

「地元から人がいなくなるのは寂しい」という3名の願いにリンクするかのようには、トガシ技研は今春、産業用ロボット生産の新工場をスタートさせる。社内資格制度や業務ローテーションの仕組みなど、教育体制もより一層充実させていく計画だ。庄内の暮らしともいって思っているなら、ぜひ見学に訪れてみてほしい。
(取材・鶴岡中央高校生徒会)

編集後記

社員の働きやすい環境づくりにとて力を入れている会社であることが、よくわかりました。また事前調査では、どんな事業を行っている会社なのかよくわかりませんでした。社員の方々の話を伺い、さまざまな分野で人の助けになっている会社だと知ることができました。私も、世の中に貢献できる社会人になりたいです。
(酒東・みつぎ)

初めての企業取材で、かなり緊張してしまいました。インタビューを通じて地元への想いをお聞きし、やはり生まれ育った土地は安心感があり、居心地がいいものなんだと感じました。私も庄内で就職したいと考えていますが、もっと多くの方がその良さに気がつき地元就職を選ぶことで、庄内が活気づいていくといいなと思いました。
(鶴中央・みさき)

編集部員&特ダネ
まだまだ募集中!

「スゴハイ」の企画制作をやりたい高校生、「こんなスゴい高校生知ってる」「私、スゴいんです」などスゴい高校生の情報は随時募集中です。お気軽にご連絡ください。

ご応募・お問い合わせ先
Cradle事務局
info@cradle-ds.jp

編集・文=Cradle高校生編集部、工藤 拓也
写真=関 真由美
協力=酒田東高等学校、酒田西高等学校、鶴岡中央高等学校